



さくらんぼシーズンも終盤に突入！ 日本一の産地、山形県が「紅秀峰」をPR！

山形県JAさがえ西村山「紅秀峰」トップセールス

- 期日：6月28日(木)
- 場所：大田市場 東京青果棟
- 主催：JAさがえ西村山、寒河江市、河北町、西川町、朝日町、大江町
- 内容：紅秀峰の試食宣伝

■ シーズンの終盤を飾る品種「紅秀峰」をPR！

6月28日に、山形県のJAさがえ西村山が「紅秀峰」のトップセールスを行いました。JAさがえ西村山のさくらんぼは、5月下旬の「紅さやか」から始まり、「佐藤錦」が6月上旬から下旬まで出荷されます。そして、さくらんぼシーズンの終盤を飾るのが、6月下旬から7月上旬まで出荷される「紅秀峰」となります。トップセールスでは、JAさがえ西村山の柴田代表理事組合長と寒河江市の佐藤市長を始めとする一市四町の首長が大田市場でPRを行いました。

試食宣伝では、柴田代表理事組合長と一市四町の首長が、かごに山盛りの「紅秀峰」を持って市場関係者に配り、好評を得ていました。

■ 都中央での山形県のさくらんぼの位置と今年の作柄

平成29年の山形県産さくらんぼの都中央における入荷量は約1,700tで、都中央全体の8割を占めています。

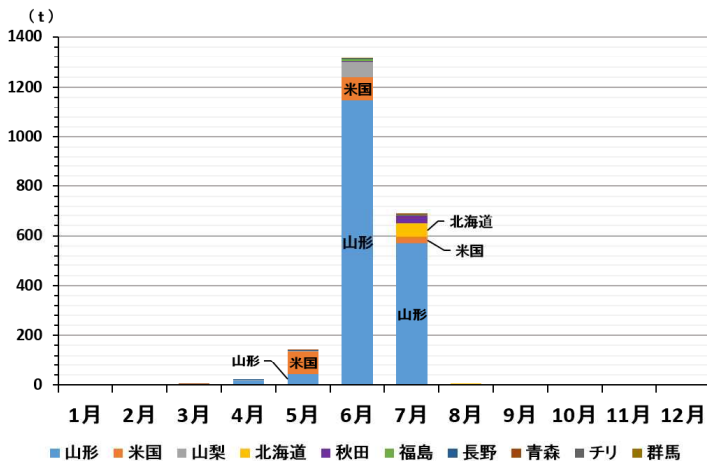
今年の作柄について、JAさがえ西村山の職員は「好天に恵まれ気温が高く経過したため、生育は1週間程度前進していた。しかし、梅雨に入ってから曇天により最終的には5日程度の前進となった。今年は実の肥大も良く、L品を中心に2L、Lの比率が高い。また、梅雨で気温が高くないため、荷傷みも少なく、さくらんぼにとっては良い年となった」とコメントしていました。



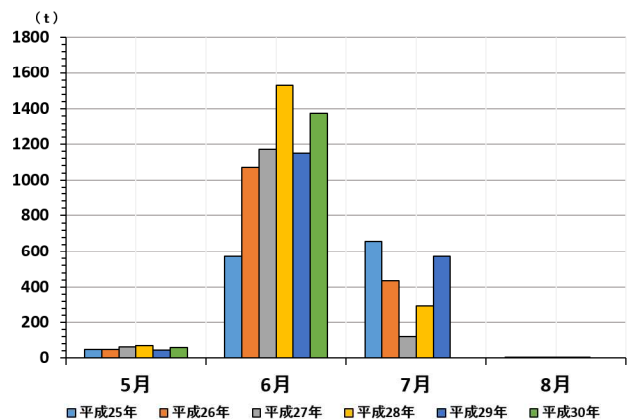
桐箱入りの「紅秀峰」



JA組合長と一市四町の首長が試食を配布



都中央でのさくらんぼの産地別入荷割合 (H29)



都中央での山形県産さくらんぼの入荷量の推移 (H25～H30)